

### 3 / 7 校長室より 460



できる限り 生徒の良さを見つけて  
少し大げさなくらいに ほめてあげたいと思うのは  
教師の常です。

ただ、この機を逃したら  
この生徒はダメになる と判断したときは  
心から叱らなければなりません。

なぜなら そういった場面では  
本人にも少なからず 叱られるようなことを  
してしまっている自覚があるもので  
そうした行為を ただやり過ごしてしまうことは  
本人を無視してしまうことと変わらないからです。

そんな大人を 子どもは信用しないことでしょう。  
また、何のために 公教育を受けているのか  
その意味さえも 分からなくなります。

私たち教師は 学校に通うことの意味を  
しっかりと教えなければなりません。  
運命的なこの出会いの中で  
互いに人間として高まり合い、  
これからの社会をよりよく生きていくために。

